

一般質問



市政を問う!

- 堀内 重佳** 「豊川市の公契約」「コンパクトシティ推進」
- 早川 喬俊** 「義務教育の宿泊研修」
- 井川 郁恵** 「国民健康保険データヘルス計画」
- 浦野 隼次** 「豊川市土地開発公社の保有土地の状況」「豊川市の身近な公園」
- 星川 博文** 「豊川市の義務教育の現状と方向性」
- 倉橋 英樹** 「豊川市の入札制度」
- 神谷謙太郎** 「高齢者の交通安全対策」「本市をとりまく観光振興」
- 八木 月子** 「家庭ごみの処理」
- 今泉 淳乙** 「本市の農業振興施策」
- 大場 昌克** 「町内会活動（コミュニティ活動・市民活動）の推進」
- 石原 政明** 「本市の雇用政策」
- 堀部 賢一** 「未整備都市計画道路等」
- 太田 直人** 「本市の義務教育行政」
- 安間 寛子** 「市役所の各支所（一宮支所、音羽支所、御津支所、小坂井支所）の廃止を許さず、機能の拡充を求めること」「3文化ホール（小坂井・御津・音羽）の存続・充実と、新文化施設の建設」「市内小中学校と保育園の保育室の空調設備」
- 佐藤 郁恵** 「豊川市の産業振興の考え方と、中小企業・小規模企業振興基本条例等の制定」「豊川市プール廃止方針の撤回と、市民の意向調査を行う考え」
- 柴田 輝明** 「大規模災害における消防体制」「本市の救急体制」

一般質問とは？

議員が、市の行政全般にわたって、執行機関に対して事務の執行状況や将来に対する方針などを質問することで、質問時間は30分（答弁の時間は除く）で、一括方式（質問回数3回）または、一問一答方式（質問回数無制限）で行っています。

ここに掲載した代表・一般質問の内容は抜粋したものですので、詳しくは、ホームページで公開するインターネット中継（録画）、会議録をご覧ください。

①拠点駅

豊川市立地適正化計画において、医療、福祉、商業などの都市機能施設を誘導し、利便性の高い都市構造へ移行するために、周辺地域の拠点として位置づけられた駅。

【問】 公契約条例の制定に向けたスケジュールは。

【答】 6月下旬からパブリックコメントを実施、アンケート調査を経て9月議会への上程、31年4月1日の施行を目指す。また、条例では、公契約審議会の設置を予定している。

【問】 ①拠点駅名電赤坂駅のトイレ改修などの基盤整備の考えは。

【答】 拠点駅周辺の都市基盤は、今年度現況調査などを実施し、整備事業の検討をする。

【問】 まちなか居住補助金の対象である都市機能誘導区域以外の居住誘導区域への居住の考え方は。

【答】 補助金の効果を検証して、制度を見直す必要がある場合は柔軟に検討し、効果が高い補助制度へ見直す。また、居住を誘導すべき区域であれば、地域のニーズを踏まえ基盤整備を行い、居住人口の増加に努める。

公契約条例制定とコンパクトシティ推進について

堀内 重佳





設楽町にある野外センターぎららの里

義務教育の宿泊研修について

早川 喬俊



【問】野外活動の日数についての考えは。

【答】活動を余裕を持って充実して取り組むには2泊3日が適当。

【問】小学校も中学校と同様に希望の時期や場所で行う考えは。

【答】全ての小学校5年生がきららの里で2泊3日の野外活動を行

っている。素晴らしい場所であり、全校が取り組むことで効果的な運営ができています。行事検討プロジェクト委員会の中で野外活動も取り上げていき、開設目的を踏まえた課題解決に向けて努力する。

【問】修学旅行についての考えは。

【答】人との関わりや協力して取り組むなど、教育的価値が高く児童生徒が楽しみにしている。学校生活の集大成の行事と捉えているが、内容が多様化し費用が高額化していくことがないように抑え、よい修学旅行ができるよう各学校へ周知していく。

国保データヘルス計画策定の趣旨は

井川 郁恵



【問】国保データヘルス計画策定の趣旨は。

【答】保有するデータを活用し保健事業を進めることが求められているため、30年3月に第2期計画を策定した。

【問】へモグロビンA1cの値の状況は。

【答】どの世代でも県平均より有所見者の割合

合が高く若い世代ほど差が大きいため、糖尿病予備軍が非常に多い。

【問】糖尿病対策プロジェクトの活動は。

【答】若い世代をターゲットとした啓発事業に力を入れることとし、今年度は保育園や幼稚園に出向き保護者向けの啓発事業を行う予定。

【問】第2期国保データヘルス計画の評価は。

【答】糖尿病対策プロジェクトで実施計画を公表し、関係機関からの意見聴取による自己評価を行う。また、年一回、国保運営協議会に報告・意見聴取を行い、必要に応じて第三者評価を受ける。

土地開発公社の保有土地の状況と身近な公園について

浦野 隼次



【問】29年度末時点の土地開発公社が保有している土地は。

【答】公有用地は日立跡地約7万4千500平方メートル、代行用地は国道23号バイパス用地約2万2千900平方メートルを保有。

【問】名大宇宙地球環境研究所の用地取得の考えと今後の予定は。

【答】あかいはね子ども遊び場という社会福祉協議会が管理している小規模な公園で市内に10カ所ある。

【答】買い取り依頼のあった約6.5haのうち約6.2haを取得する。また、31年度中に土地開発公社と土地売買契約の締結予定で、用地は公募などで企業を誘致する。

【問】赤い羽根募金で造られた公園の状況は。

【答】あかいはね子ども遊び場という社会福祉協議会が管理している小規模な公園で市内に10カ所ある。今後さらに老朽化していく遊具の対応についての社会福祉協議会の考えは。

【答】各遊び場のバランス等を考慮し、早急に精査したいとのこと。



義務教育の現状と方向性について

星川博文



【問】遊具設置の現状と5力年更新計画の進捗状況や事故の有無は。

【答】小学校全体で単体遊具46基、複合遊具41基を設置している。

21年度から複合遊具の整備、28年度から単体遊具の更新を行っている。25年3月に起きた事故を受け、安全性の

高い遊具を指定し、32年度までに全小学校の整備を終える予定。

【問】校務支援システムによる多忙化解消の効果は。

【答】校務の効率化が進み、校務処理の時間が削減された。また、教職員間での情報共有やヒューマンエラーによる事故を未然に防ぐことにもつながった。

【問】子どもの学力向上に向けた取り組みは。

【答】基礎基本の定着とわかる授業をキーワードに設定した。小学校での多様な体験、授業改善などの取り組みは、中学校での学力向上にもつながっている。



予算額に対する最低制限価格の設定金額の状況は

倉橋英樹



【問】予算額に対する最低制限価格の設定金額の状況は。

【答】国の算定式を使用しているなかった28年度は予定価格の約71%、使用した29年度は約88%で設定している。

【問】最低制限価格以下で入札された件数は。

【答】29年度に最低制限価格制度の対象となる入札において定める額。予定価格の範囲内で、かつ最低制限価格以上の価格で申し込みをした者のうち、最低の価格で申し込みをした者が落札者となる。



【問】入札等審査会はそのような組織か。

【答】工事等の入札方法、入札参加要件の設定、入札参加者の選定の審査などを行う。

【問】入札等審査委員会の議事録はあるか。

【答】法人等の正当な利益を害するおそれがある情報を含むため、審査記録などは残していない。

【問】簡易的な記録でも残す考えはないか。

【答】現時点では考えていない。先例地の状況を参考に引き続き適切な審査ができるよう検討する。

交通安全計画において高齢者に着目した事業は

神谷謙太郎



【問】高齢者に着目した交通安全の事業は。

【答】生活道路の整備、防護柵、道路反射鏡、道路照明灯などの設置、高齢者自転車教室の開催、反射材アクセサリの配付等を実施した。

【問】高齢者の自転車事故防止について条例に沿った実施方法は。

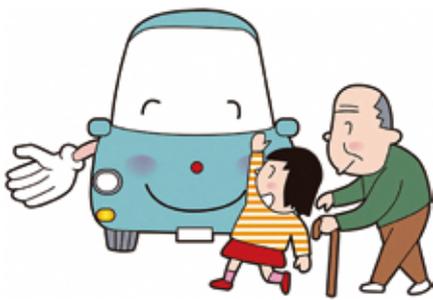
【答】老人クラブ等での安全教室受講の啓発、受講証ステッカーの配付。また、自転車の安全利用を推進するため実行計画を作成したい。

【問】市と観光協会の連携した取り組みは。

【答】首都圏プロモーションなどの観光PRや各種イベントの出店、観光協会主催イベントにおいて本市のシテイセールスを行っている。

【問】東三河地域全体での観光振興の認識は。

【答】東三河を一つの観光資源という考え方は大変有効であり、東三河広域観光協議会の構成団体として観光振興に取り組んでいく。





家庭ごみの処理について

八木 月子



【問】家庭から排出されるごみの量は。

【答】28年度の生活系ごみの量は4万9千613トンで、市民一人一日当たり732グラム。

【問】ごみステーション設置基準と箇所数は。

【答】設置基準には町内会用と集合住宅等用の2つがあり、管理は

それぞれ管理者が行うこととなっている。設置箇所は2千860カ所。

【問】ごみ出しが困難な方への支援は。

【答】軽トラックの貸し出し、粗大ごみの戸別収集のほか、28年10月から一人暮らしでごみ出しが困難な要介護認定者などを対象にあんしん訪問収集を実施しており、29年度末で27名の利用がある。

【問】レジ袋タイプのゴミ袋の導入の考えは。

【答】豊橋市等で導入されているが、比較的新しい評価期間の短い取り組みでもあるため、周知の問題も考慮し導入の可否を判断したい。



上長山町にあるため池「宝地池」

本市独自の農業振興策の考えは

今泉 淳乙



【問】本市独自の農業振興策の考えは。

【答】ひまわり農協と密に連携し、農業経営の創業及び事業継承などの経営支援策等に取り組んでいく。

【問】ため池の今後の方向性は。

【答】かんがい機能、生物の生息・生育場所

の保全、洪水調整や防火用水など多面的な機能を有しており、今後適切な管理を行う。

【問】土地改良区の現状と課題は。

【答】揚水機場などの施設の老朽化による維持補修費の増や、農地転用等による賦課金の減少により財政が逼迫しており、組織や財政の基盤強化が課題。

【問】支援の考えは。

【答】豊川用水の適切な管理、農地等の管理を通じた環境保全などの役割を担い、公共性の強い団体であり、農業振興を図るために、連携を強化し、人的、資金的支援に努める。

町内会加入率の維持向上の対策は

大場 昌克



【問】町内会加入率の維持向上の対策は。

【答】町内会加入促進活動事業費補助制度により、町内会独自の加入促進活動について支援を行っている。

【問】都市公園について地元管理の状況は。

【答】107の都市公園のうち78について、地元

管理をお願いしている。【問】地元管理の内容と委託料の考え方は。

【答】除草等の清掃作業、便所の清掃、生垣の剪定などがあるが、可能な範囲でお願いし、作業単価をもとに算出した委託料に消耗品費などを加えて支払う。

【問】委託料の見直しは行っているか。

【答】地域奉仕的な要素を含み、適正であるかの判断が難しく、作業単価は21年度以降見直しを行っていない。

【問】町内会活動の重要性に対する認識は。

【答】今後も市の最大のパートナーと位置づけ、連携を進めていく。



加入促進事業費補助制度により作成した活動を紹介する冊子

本市の雇用政策、
しごとづくりの取り組みは

石原政明



【問】起業者に対する支援の取り組みは。

【答】とよかわ創業・起業支援ネットワークを創設し情報提供やアドバイスを行っている。また、チャレンジとよかわ活性化事業費補助金を創設し、事業の拡大を支援している。

【問】シルバー人材センター事業の充実への取り組みと市の支援は。



豊川市シルバー人材センター

【答】一人一会員入会運動などの啓発活動、女性会員の拡大を図るためのサロンの開設等への支援、幅広い就業先の確保などの取り組みを行う。市は人件費の一部の補助等、継続的な財政支援を行う。

都市計画道路の整備について

堀部賢一



【問】長年、小坂井地区の都市計画道路が整備されない理由は。

【答】急速な宅地化の進展、JR・名鉄との鉄道交差、佐奈川との交差など多額な事業費と沿線地域への多大な影響を及ぼすため事業の進展が図れなかった。

【問】見直し検討委員

④普通財産

公有財産のうち行政財産以外の一切の財産のことで、特定の行政目的をもたず、貸し付け、売り払いなどが認められているもの。

会での議論は。

【答】個別の路線整備の議論は行っていない。

【問】道路整備を進める際の課題は。

【答】宅地化が進んだ地域では住宅等の移転が必要となり、移転後の生活の再建が大きな課題。また、多額の移転補償費も課題である。

【問】普通財産を都市

【答】普通財産は必要がなければ処分することになるが、その時点で都市計画道路や駅前広場の整備に伴う代替地の確保が必要な状況であれば、選択肢の一つとすることも可能。

小学校の外国語活動の現状と今後は

太田直人



【問】小学校の外国語活動の現状と今後は。

【答】楽しく活動することが基本。30年度に4名のAETを増員、14名とし新たに2名の外国語専科教員が配置され、外国語力向上につなげている。32年度の教科化の完全実施に向け学校ごとに準備中。

⑤AET
(assistant English teacher)
外国人英語指導助手



【問】道徳の教科化が目指すものは。

【答】よく考え議論する道徳に転換し、主体的に考える子どもを育てることが狙い。授業では教科書を使い、評価は数値でなく記述式、相対的評価でなく励ますためのものとする。

【問】小中学校での部活動の実態と今後は。

【答】複数教員での指導や外部指導者の活用、休養日の設定や朝練習を減らすなど、生徒の健康や教員の負担軽減に配慮している。部活は教員多忙化の原因でもあり、今年度の県指導ガイドラインを受け、方向性を再検討する。



支所機能の統廃合について、住民説明会を開催する考えは

安間 寛子



【問】支所機能の統廃合について、住民の声を聞くために説明会を開催する考えは。

【答】小坂井エリアと同様に、他のエリアの公共施設再編事業を検討する場合は、地域の意見や要望を伺いながら丁寧に進めていく。

【問】4文化会館を廃

止し、新文化会館を建設する方針は、文化芸術創造プランに反するのではないか。

【答】33年度までの計画期間中のプラン遂行に変更はない。次期計画では、新文化会館建設に伴う重複機能の集約、統廃合の具体化の提示とプランの見直しは必須と捉えている。

【問】保育園の空調設備設置の考え方は。

【答】乳児室と昼寝などにも使用する遊戯室には全て設置している。3歳以上の児童の保育室については、他市の状況を注視し、保護者の要望に常に耳を傾けていく。



31年夏季終了後に廃止になる市プール

市プールの市民意向調査の考えは

佐藤 郁恵



【問】中小企業・小規模企業振興基本条例の県下の制定状況と本市の考えは。

【答】県下では愛知県と、安城市、新城市など11市1町が制定している。本市では現時点で制定の考えはない。

【問】本市と近隣市の公営プールの状況は。

【答】小坂井B&G海洋センターの利用者は平成13年度が6万352人、29年度が7万8千404人と増加傾向で、高齢者は4千234人が2万3千98人と大きく伸びている。29年度の豊川市プールの1日当たり利用者数は515人、豊橋市民プールが237人、アクアリーナ豊橋が303人、りすば豊橋が221人。また、蒲郡市民プールは廃止、新城市民プールは休止中である。

【問】市プール廃止方針は撤回し、市民意向調査を行う考えは。

【答】市民の意向の調査は考えていない。

消防の相互応援の体制は

柴田 輝明



【問】消防の相互応援の体制は。

【答】あらゆる災害に対応するため東三河地区消防相互応援協定等の協定を締結している。

【問】緊急消防援助の今後の展望は。

【答】全国規模での援助体制の充実強化が計画されている。災害時、

職員・車両等を派遣し、被害の軽減に貢献できるように取り組んでいく。

【問】救急業務における課題に対する対策は。

【答】現場到着時間の延伸傾向、軽症割合の実態を周知し救急車の適正利用を推進。また、市民への心肺蘇生法等の普及啓発、隊員のスキルアップの訓練により救命率向上を図る。

【問】大規模商業施設進出による市民病院周辺の交通渋滞の対策は。

【答】市民病院周辺道路渋滞対応検討委員会を立ち上げ、昨年度末中間報告をした。今後提出される資料に基づき引き続き検討する。

